

夕刊常警毎日

行所 75 新聞社
平市日新街
常警 210 番
電話 1 吉田 南
編集人 吉田 南
印刷 吉田 南

婦産科
婦人科
斎藤医院
入室料
三十分
平市日新街九〇二

造つても造つても 足りない市営住宅の見通し

緊縮予算で補助減額さる

平市の市営住宅は昭和廿二年鈴木市長の都市計画にもつき全国にききかけて百廿三戸（学校住宅十戸を含む）五、七五坪と九、七五坪を各町内市有地に敷在建設したのを始めに、廿七年までに木造平家建三百四十九戸引揚木造住宅廿七戸、木造アパート一棟十戸、鉄筋アパート一棟十戸を造つた。

「このうち廿二、廿三年度建設分の百卅三戸は規定通り五年後入居者に九万三千円、廿七年度の月賦で売渡された市営住宅も廿七年に廿戸が完成した、また廿五年二月には住宅公園路止にもない同公園から藤田、五色両町にある木造アパート三棟六十戸を譲受けさらに廿八年度は木造平家建六十五戸、鉄筋アパート一棟八戸を建設、一部はすでに完成、入居者も決定したが来年度からはインフレを押し進めるため政府が緊縮予算を押し進める意向なので、いままでのように市営住宅法によつて受けた補助も半額になることは確実とみられ、大規模な建設をすすめる市営住宅建設は来年度から三割減になることが予想される。

この補助の減額をおよぼさざるは市財政の手盛り如何にあるが現在は市営住宅の市政運営の不

新年度は三割減

緊縮予算で補助減額さる

手前から赤字財政寸前であるので不可能とみられ、家を求める人々の切ない願いも、断たれてしまつたと言つた形非常に暗い見通しである。

家賃が上がる
度民変じて高級住宅の憂あり

一方家賃はさうさうな市では新築の値上り、補修材の値上り



（写真は寒天工場）

外貨獲得に一役

平に寒天工場を建設

富士化学寒天株式会社社長佐藤三平氏は資本金六百万円で平市日新街四二に新築特許の機械からなる製造工場を設けることを見定、廿日午後一時から市内有識者を集めて披露式を行った。

この工場は始め江町水崎



一寸待て右左

さすがに下といわれる平市の交通量も大したもので、市内に在在する私道も交通の発展と共に商業界の向上も誠に喜ばしきものがある。しかしそれに伴ない道路の破損も少なからざるものがある。最近道路修繕の為に本町通り（国道二、三丁目）を改修する。

市会計課談

「今の値上げは公営住宅法にもとずくもので高いものではない、ほんとなら行けば一戸三千元の家賃はとれる」

「緊縮財政でも住宅の方にはあまり心配はないものと思う」

常警製作支部

世論調査

「総評」「金労」につれて参加すべきかについて現在組織をあげて研究中であるが、この問題については常警製作支部では、組合の世論調査を行つた。結果、「金労」に参加すべきとする者がややく、次いで旧組織「総評」に復帰する。

市内教員の 研究物展覧会

平市立小、中学校教育研究奨励規定に基き市内小、中学校教育研究物展覧会が廿五日から三日間平市公会堂本館で開催する。

なお同展覧会賞状の表彰式は廿七日午後一時から同日本館で挙げる。

大炭礦に多かつた 昨年度の災害事故調査

東京鉱山保安監督部支部では去月初旬から二十八日に発生した同支部管内の炭礦関係の状況調査を進めて来たが、一応終了したので、二十日東京監督部に調査結果を報告した。

調査によると昨年度に発生した事故は約九十三件で、七十七年より減少している。事故による罹災者は七十九名（二十名（二十七名発生）、四十四名（重傷）、二名（死亡）、二名（死亡））と昨年より二割弱に減少した。

一方死傷は二十七名の四十六名より二割五分も多く五十八名だったがこれは昨年三月にあつた死傷三名を除く三名を出した大炭礦が原因で、一割に上つた。表情では、

市内教員の 研究物展覧会

平市立小、中学校教育研究奨励規定に基き市内小、中学校教育研究物展覧会が廿五日から三日間平市公会堂本館で開催する。

なお同展覧会賞状の表彰式は廿七日午後一時から同日本館で挙げる。

新築落成御挨拶

水らく御不自由をお掛け申上げましたが此の度お陰様をもちまして南向の陽当りのよい「次の間付」の新館が落成致しました、何卒御気軽にお出掛けの程お待ちしております。今後共に旧に倍し御引立の程伏して御願い申上げます。

◎御座敷女中さん
◎縁取のある方
◎募集いたします

割烹旅館
湖野

大通り前大坂
電77番
運動具は
大塚へ

当寺 十七世住職祇祐信儀去る二月五日
心臓衰弱の為急逝致しました、就てだん信儀其の他知己の方へ御通知致れどもあるかと思われまので生前の御厚誼を深謝し茲に願ひ御通知申上げます。
尚告別式は於寺来る二月二十五日午後二時よりだん信儀執行致します。

明賢寺住職 藤内 得 秀
葬儀委員長 武藤 治三郎
外総代世話人 一 向

大寺院送迎の際は御多忙中にも拘らず遠路馳参り御会葬下され且つ御厚意なる御香奠を賜りまして誠に有難く御礼申上げます。
一々拝禮の上御礼申上げる処で御座いますか略儀作ら紙上を以て御厚礼申上げます。
昭和二十九年二月二十一日
平市堀ノ内
施主 大塚 幸太郎
親戚代表 村上 長次郎
大塚 駒太郎
外親戚 一同

湖野

